

鶴見川流域学習会

# 狩野川台風から学ぶ これからの豪雨対応

2019年  
**2/16**  
(土)

13:30 ~ 15:30  
開場 13:10

昭和33年(1958年)狩野川台風時の太尾町(現大倉山)  
撮影：黒川太郎氏  
画像提供：黒川紀夫氏  
協力：公益財団法人 大倉精神文化研究所

開会

暴れ川の記憶上映

対談 「昭和13年、昭和33年の水害について」

休憩

「これから一人ひとりがどうしてゆくか？」

閉会

..... 登壇者 .....



小山和雄氏

5才のときに昭和13年の水害の体験。  
「鶴見川の黒い濁流に白い水が流入すると激甚水害になる。」大水害に備えた地域の智慧を語っていただきます。



岸由二氏

慶応義塾大学名誉教授・ドラゴンウォッチの会代表。国交省河川審議会委員。鶴見川下流の町で1958年、1966年の水害を体験している。

参加費 無料  
定員 30名  
会場 横浜市港北図書館  
対象 大人(小学生高学年)

ここ数年、各地で起こる温暖化による豪雨により、防災への意識は高まりつつあります。しかし鶴見川下流(港北区・鶴見区)が水害常襲地帯であったことを知る人は少なくなっています。今年度は昭和13年の鶴見川大水害から80年、狩野川台風による大水害から60年に当たります。水害を経験した方にお話をうかがい、これまで起こった水災害を検証し、いざという時のための対策を共有する学習会を行います。

主催：鶴見川流域水協議会  
(国土交通省関東地方整備局 東京都 神奈川県 横浜市 川崎市 町田市 稲城市)  
共催：連携鶴見川流域ネットワーク  
協力：港北図書館 ドラゴンウォッチの会 綱島バリケン島プロジェクト  
横浜日吉新聞 / 新横浜新聞(地域インターネット新聞社)

＜お申込み・お問合せは＞

NPO法人 鶴見川流域ネットワーク  
TEL:045-546-4337 FAX: 045-546-4344  
Eメール:office@tr-net.gr.jp



鶴見川の流域はバクの形



JR線・東急東横線菊名駅より徒歩7分



# 狩野川台風から学ぶ これからの豪雨対応

申込者氏名	
住 所	
電 話 番 号	※当日、ご連絡可能な番号をお書き下さい。
F A X 番 号	

## 参加希望者名簿

●参加者全員（申込者以外）のお名前をご記入ください。※参加者がお子様の場合は年齢（または学年）も必ずご記入ください。  
※小学生4年生は保護者同伴です。5年生以上の未成年の方は保護者の了解をもらった上でお申し込み下さい。

参加者氏名

※参加に伴う個人情報の取り扱いにつきましては、本企画の実施に限り使用させていただきます。

※参加に伴う個人情報の取り扱いにつきましては、本企画の実施に限り使用させていただきます。

↓ FAX: 045-546-4344 TEL:045-546-4337  
Eメール:office@tr-net.gr.jp